

- 1 応仁の乱以降、浄土真宗（一向宗）の信仰で結びついた農民や武士が団結して守護大名を倒し、自分たちで地域を治めた動きを何という？
- 2 二条河原の落書など、中世の日本の文芸や歌で好まれた、五音と七音を組み合わせ七音が先に来る言葉のリズムを何といいますか？
- 3 1428年に近江国で起こり、馬借らが蜂起した民衆とともに幕府へ徳政を求めた一揆を何という？
- 4 室町時代の中期、京都の東山に山荘を建てて文化を奨励した第8代将軍は誰？
- 5 室町時代に惣村で村の運営のために行われた、住民による話し合いの集会を何という？
- 6 建武の新政が行われていた期間の混乱ぶりを風刺し、当時の社会状況を伝えるために作られた落書きを何という？
- 7 室町時代に町衆が主体となって祭礼が運営された、京都にある神社を何という？
- 8 中世において、寺社の門前や交通の要所に、決まった日にちや回数で開かれる商業活動の場を何といいますか？
- 9 琉球王国が日本、中国、東南アジア諸国を仲介して行った、輸出入を通じた経済活動を何といいますか？
- 10 15世紀後半、細川氏と山名氏が対立し、将軍の跡継ぎ問題などが絡んで京都で起こった大規模な内乱を何という？
- 11 堺の町で、有力な商人たちが組織した合議制の運営組織のことを何という？
- 12 室町時代、京都に慈照寺銀閣を建てて、簡素で気品ある文化の発展を支えた将軍は誰？
- 13 室町時代、堺や博多などが大きく発展するきっかけとなった、明との間で行われた貿易を何という？
- 14 鎌倉府の長官として、足利氏の一族が世襲して関東地方の軍事や行政を司った役職を何という？
- 15 能の母体となった、民衆の間で行われていた芸能を何という？
- 16 慈照寺の東求堂同仁斎に見られる書院造が原型となった、畳や床の間を備えた現代の日本の部屋を何という？
- 17 室町時代、3代将軍足利義満が京都の北山に建てた、北山文化を代表する建築物を何という？
- 18 明に渡って絵画を学び、独自の力強い水墨画を大成させた画僧は誰？
- 19 室町時代、細川氏が実権を握り、明との間で行われた貿易を何という？
- 20 足利義満の時代に、公家文化と武家文化が融合して生まれた文化を何という？
- 21 足利尊氏が鎌倉幕府を倒したあとに離反し、吉野に逃れて対立した天皇は誰？
- 22 室町幕府が、明との貿易船を正式なものと証明するために使用した札を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	<u>一向一揆</u> は、浄土真宗の強い信仰で結ばれた民衆が指導者のもとに組織的に戦ったものです。		<u>一向一揆</u>	☐
2	二条河原の落書は、当時の世相に対する痛烈な批判を、当時の人々にとって馴染み深く覚えやすい「 <u>七五調</u> 」のリズムで表現しました。		<u>七五調</u>	☐
3	この一揆は、近江国の馬借が先導したとされ、土倉や酒屋を襲って借金の証文を破り捨てました。		<u>正長の土一揆</u>	☐
4	<u>足利義政</u> は京都の東山に山荘（現在の慈照寺）を建て、そこを拠点に水墨画、茶の湯、華道などを愛好しました。		<u>足利義政</u>	☐
5	「 <u>寄り合い</u> 」は、村の運営に関わる重要な事項を決定するための集会です。		<u>寄り合い</u>	☐
6	<u>二条河原の落書</u> は、当時の世の中の様子や政治の混乱を風刺した文章です。		<u>二条河原の落書</u>	☐
7	<u>八坂神社</u> で行われる祇園祭は、室町時代の京都において、有力な商工業者である「町衆」が中心となって運営されました。		<u>八坂神社</u>	☐
8	寺社はその権威と安全性を背景に、参拝者が集まる門前や街道の要所に <u>定期市</u> を開かせました。		<u>定期市</u>	☐
9	中国、日本、朝鮮、東南アジア諸国を自国の船で結び、それぞれの国の特産品を運ぶ貿易を行いました。		<u>中継貿易</u>	☐
10	<u>応仁の乱</u> は1467年に始まり、約11年間にわたって京都を舞台に繰り広げられた戦いです。		<u>応仁の乱</u>	☐
11	<u>会合衆</u> は、堺の有力者による合議組織です。		<u>会合衆</u>	☐
12	<u>足利義政</u> は京都の東山に山荘を構え、茶の湯や華道、連歌などの文化的な活動を奨励しました。		<u>足利義政</u>	☐
13	<u>日明貿易</u> は、当時の日本にとって中国の文物を輸入する重要な手段でした。		<u>日明貿易</u>	☐
14	<u>鎌倉公方</u> は、室町幕府の将軍の親族が任命されることが多く、関東における事実上の将軍代理として君臨しました。		<u>鎌倉公方</u>	☐
15	「 <u>猿楽</u> 」は、当時の民衆に親しまれていた物真似や軽業、踊りなどを中心とした芸能です。		<u>猿楽</u>	☐
16	室町時代に発達した書院造は、床の間や違い棚、障子、襖、そして部屋全体に敷き詰められた畳が特徴です。		<u>和室</u>	☐
17	<u>鹿苑寺金閣</u> は、この北山山荘の中核として建てられた舍利殿です。		<u>鹿苑寺金閣</u>	☐
18	<u>雪舟</u> は日本の禅僧でありながら、遣明船に乗って中国へ渡り、本場の絵画技術を学びました。		<u>雪舟</u>	☐
19	足利義満が開始した <u>勘合貿易</u> は、明の皇帝が発行した証明書である「勘合」を所持した船のみが貿易を許可される仕組みです。		<u>勘合貿易</u>	☐
20	<u>北山文化</u> の特色は、伝統的な公家文化の優雅さと、力強い武家文化が融合している点にあります。		<u>北山文化</u>	☐
21	この武士たちの不満を受け、足利尊氏が <u>後醍醐天皇</u> に反旗を翻しました。		<u>後醍醐天皇</u>	☐
22	「 <u>勘合</u> 」は、明が日本の貿易船に与えた割り印のある証票で、明が保管する底簿と照合されました。		<u>勘合</u>	☐

言えなかった用語ノート